



たてやま議会だより



●平成24年8月号 ●No.98 ●発行/館山市議会 ●☎294-8601 館山市北条1145-1 ●電話 0470-22-3527
議会メールアドレス gikai.j@city.tateyama.chiba.jp



観光客で賑わう“渚の駅”たてやまの展望デッキ

平成24年6月定例市議会 館山市市税条例の改正など 11議案を議決

平成24年第2回月臨時市議会(7月23日開催)

を議決 工事請負契約の締結1議案

6月定例市議会は、6月8日から25日までの会期18日間にわたって開かれ、市長から提案された8議案が、いずれも原案どおり可決されました。

また、基地対策予算の増額等を求める意見書など3議案が議会から提出され、いずれも原案どおり可決されました。

6月定例会において、会議初日(6月8日)は、会期を18日間と決定した後、市長から各議案について提案理由の説明が行われました。続いて、閉会中に行われた文教民生委員会の委員長報告がありました。
6月12日から14日は、12人の議員が一般質問を行い、市政の諸問題について市当局の考えをたどりました。
6月18日は、各議案について質疑を行った後、所管の常任委員会に審査を付託しました。
最終日(6月25日)は、各委

主な内容

- ★議案の概要 2頁
- ★委員会審査 3~4頁
- ★一般質問 5~9頁
- ★議決結果 10頁

員会の委員長が委員会での審査の経過及び結果を報告した後、討論、採決を行いました。
続いて、追加議案の審議を行い、閉会しました。

第56代副議長に

榎本祐三 議員



議長 福岡 信治
副議長 榎本 祐三

(◎委員長、○副委員長)

総務委員会委員 (6人)

◎石井 信重 ○龍崎 滋

石井 敏宏 太田 浩

秋山 貴 福岡 信治

文教民生委員会委員 (6人)

◎三澤 智 ○瀬能 孝夫

森 正一 望月 昇

本橋 亮一 鈴木 順子

建設経済委員会委員 (6人)

◎本多 成年 ○石井 敬之

鈴木 正一 内藤 欽次

榎本 祐三 吉田 恵年

議会運営委員会委員 (9人)

◎秋山 貴 ○鈴木 順子

森 正一 瀬能 孝夫

望月 昇 石井 敬之

三澤 智 鈴木 正一

本橋 亮一

三澤智副議長の辞職に伴う副議長選挙の結果、榎本祐三議員が副議長に当選されました。榎本副議長は、当選後の挨拶で「議長を補佐し、館山市政の充実と発展のために努力していくつもりですので皆様のご指導、ご鞭撻をお願いします。」と述べました。

議会構成の一部を変更

副議長辞職に伴う副議長選挙並びに任期満了に伴う常任委員会委員及び議会運営委員会委員の改選などが定例会最終日に行われ、新しい議会構成は次のとおりになりました。なお、一部事務組合の議会議員については、変更がありませんでした。また、榎本祐三議員が副議長になったことに伴い、館山湾整備調査等特別委員会の委員に三澤智議員が選任されました。

議案の概要

6月定例会に提案された議案を紹介します。

議案第34号 館山市市税条例

の一部を改正する条例の専決処分の承認について、土地に係る固定資産税及び都市計画税について、現行の負担調整措置を制度内容を変更した上で継続するため、所要の改正を行なったもの。

また、市民税について、東日本大震災の被災者の負担の軽減を図るための特例を設けたもの。

議案第35号 館山市市税条例

の一部を改正する条例の制定について、地方税法の改正に伴い、年金所得以外の所得を有しなかった年金所得者の申告手続きの簡素化の観点から、寡婦(寡夫)控除を受けようとする場合の申告書の提出を不要とするもの。

議案第36号 館山市国民健康

保険税条例の一部を改正する条例の制定について、地方税法の改正に伴い、東日本大震災で被災したことにより居住できなくなった家屋の敷地を譲渡した場合における長期譲渡所得の課税の特例の適用期間を3年から7年に延長しようとするもの。

議案第37号 館山市印鑑条例

等の一部を改正する条例の制定について、外国人登録法の廃止及び住民基本台帳法の一部を改正する法律の施行に伴い、館山市印鑑条例、館山市手数料条例、館山市敬老祝金条例及び館山市災害見舞金等給付条例につきその一部を改正しようとするもの。

議案第38号 平成24年度館山市一般会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ7810万3千円を追加して総額164億610万3千円としようとするもの。主要事項として地域コミュニティの推進を図るコミュニケーション事業補助金、地域密着型

サービス施設整備事業、住宅用太陽光発電システム設置費補助金、人・農地プラン作成事業、観光振興における経験と見識を有する参与を置くための参与報酬、消防団詰所整備事業。

議案第39号 平成24年度館山市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ3億4920万7千円を追加し、総額68億3793万7千円としようとするもの。主要事項として、一般被保険者療養給付費、退職被保険者等療養給付費、一般被保険者高額療養費、財政調整基金積立金、過年度療養給付費等負担金返還金。

【追加議案】

議案第40号 平成24年度館山市一般会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ2764万1千円を追加し、164億3374万4千円にしようとするもの。千葉県から交付される緊急雇用創出事業補助金を活用し、離職を余儀なくされた非正規労働者、中高年齢者等の失業者に対して、次の雇用までの短期の雇用・就業機会の創出を図るもの。



て
の増額等を求める意見書について

【議会提案議案】

発議案第2号 基地対策予算

議案第41号 人権擁護委員候補者の推薦について
人権擁護委員が任期満了になるので、人権擁護委員法の規定により、引き続き生稲裕美さん（北条16-12）を推薦しようとするもの。

事業名【主管課】	補正額（千円）
課税資料電子化事業【税務課】	942
子育て支援情報発信事業【こども課】	5,727
コミュニティ医療推進事業【健康課】	11,000
地産地消連携強化推進事業【農水産課】	5,777
道路施設現況調査事業【建設課】	1,605
トリアスロンワールドカップ開催事業【スポーツ課】	2,124

る意見書
基地対策予算の増額等を求める

【意見書要旨】

3件の意見書を可決し、関係機関に提出しました。

意見書提出

発議案第4号 国における平成25年度教育予算拡充に関する意見書について
請願第6号の趣旨による。

発議案第3号 義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書について
請願第5号の趣旨による。



海上自衛隊館山航空基地の基地開放

自衛隊の基地が所在する市町村に対し、国から交付される基地対策予算の増額を求めるもの。
義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書
教育水準の維持向上と地方財政の安定を図るため、義務教育費国庫負担制度を堅持するよう要望するもの。

国における平成25年度教育予算拡充に関する意見書

国際化・高度情報化などの社会変化に対応した学校教育の推進や教育環境の整備促進等のため、平成25年度教育予算を確保するよう要望するもの。

7月臨時会に提案された議案を紹介します。

議案第42号 工事請負契約の締結について
「北条小学校耐震改修工事」の第1期分について、予定価格が1億5千万円を

超えているため、「議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例」の規定に基づき議会の議決を求めようとするもの。



耐震改修工事予定の北条小学校校舎

委員会の審査

各定例会における審査について、主なものをお知らせします。

総務委員会

委員長 本多成年議員

議案3件について審査を行いました。

議案第35号 館山市市税条例の一部を改正する条例の制定について

申告書の提出が不要になるとこのPR及び該当人数について

て聞いたところ、年金所得者については毎年、年末に申告書を送付され、その中で寡婦控除の有無が聞かれるので、市として独自にPRは考えていない。
また、該当人数は、年金についての寡婦控除人数は把握していないが、全体の寡婦控除については平成23年度で、寡婦が1452人、寡夫が89人であるとの説明がありました。

議案第36号 館山市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

これ以外に市としての支援策があるか聞いたところ、国保税条例の中に、災害を受けた場合は減免措置が取れるという一般的な規定がある、また今回の東日本大震災の被災者については国から、所得や被害の状況により減免してよい、その場合は国が財政的支援を行うという通知があり、減免を行なっている。市独自の上乗せはないとの説明がありました。





現在の消防団詰所

議案第38号 平成24年度館山市一般会計補正予算(第1号) 人・農地プラン作成事業に關して、アンケート調査及び調整會議について聞いたところ、現在、プランの策定をする集落を募集している段階である。

アンケートについては国から様式等が示されているが、それを地域に適応した形に柔軟に変更していく。

會議については、計画策定までのプロセスが重要で、できるだけ多く設けるべきであるが状況に応じて回数を決めていくとの説明がありました。

また、消防団詰所整備事業について建設場所を聞いたところ、中央公園と菜の花ホールとの間の現在駐車場になっている部分であるとの説明がありました。

文教民生委員会 委員長 石井信重議員

議案2件、請願2件について審査を行いました。

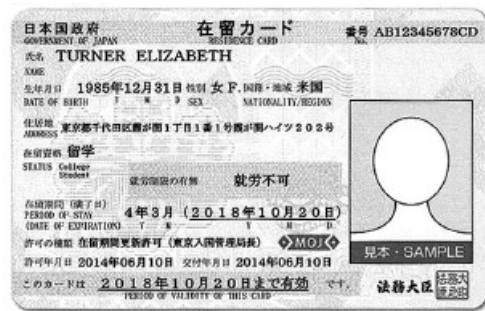
議案第37号 館山市印鑑条例等の一部を改正する条例の制定について

外国人との間に言葉の問題などが発生したときの対応策について聞いたところ、日本語が話せない場合は、通訳や意思の疎通のために、たいてい同行者がいるので、今まではそのようなケースはなかった、との説明がありました。

また、外国人登録から住民基本台帳に変わることに伴い、現状の住民基本台帳システムにソフト的な変更などないのかと聞いたところ、昨年1月からの新基幹系システムに外国人登録も取り込まれていたため、今年4月以降に業者が改修し、既に変更済である、との説明がありました。

また、外国人登録法が廃止となった主な理由について聞いたところ、事務の合理化や外国人の方々の利便性を考慮して、住民基本台帳への改正がなされた

と伺っている、との説明がありました。



在留カード (見本)

議案第39号 平成24年度館山市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について

館山市における国保税の一人当たりの課税額について聞いたところ、千葉県国民健康保険団体連合会の発行する平成23年度版国民健康保険の概要によると、平成22年度の被保険者一人当たりの調定額は、館山市が9万7059円で、県内53市町村中、高いほうから24番目である。

なお、市町村の平均は9万4035円である、との説明がありました。

また、国民健康保険の制度自

体に問題があると考えるので、全国市長会を通じて働きかけをして欲しいが、どのように考えるか、と聞いたところ、全国市長会でも先日、国に要望したが、少なくとも県単位でまとめたいとお願いしており、また、健康保険の一本化についてもお願いしている。医療費が毎年これだけ上がっている状況も踏まえ、県の市長会、全国の市長会で強力にお願いしていくので、議会もよろしくご理解いただきたい、との説明がありました。

また、ジェネリック医薬品で少しでも医療費を抑えられるように、市民へ健康関係の書類を送る時に、啓発物を同封してはどうかと聞いたところ、今年度末の被保険者証の更新の際に、ジェネリック医薬品についての啓発用パンフレットを同封する予定である、との説明がありました。

ジェネリック医薬品とは、最初に作られた新薬の特許期間が過ぎてから作られた薬で、開発費が抑えられるため、安い価格にすることができま

請願第5号「義務教育費国庫負

担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願書

請願第6号「国における平成25(2013)年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書

この2件は毎年採択しているものですが、教育というのは国の根幹に関わることなので、常に要望していかないと、財政の都合により、教育費を縮められては非常に困るので、是非今年も採択できればと思っている、との発言がありました。

交通事故を受け、教育委員会に要請文を提出しました

文教民生委員会は、4月17日に発生した小学生が被害者となった交通事故を受け、委員会を開催し、同日付で教育委員会に対して、以下のように要請しました。

- 1 児童・生徒の通学における安全の確保に関しては格段の配慮をされたいこと。
- 2 子供たちの心に深い傷を残さないよう心のケアについて十分配慮をされたいこと。
- 3 改めて、休日中の各家庭における交通安全に関する注意を喚起されたいこと。

一般質問

市政に関する一般質問は、6月12日から14日の3日間にわたり、次の12名の議員が行いました。
 議員別の質問要旨、分野別の主な質問と答弁は次のとおりです。(太字の質問は次ページ以降に掲載しています。)

一般質問通告要旨

	<p>石井 敏 宏</p> <p>①交通安全（意見を言える場、危険箇所改修、土砂運搬、過積載対応） ②土砂埋め立て問題（坂田川河口付近の濁り、駐車場埋め立て、残土条例見直し） ③体験型観光受入態勢 ④漁業（漁獲高、乱獲対策、下原漁港整備）</p>
	<p>内藤 欽 次</p> <p>①事故を受け、生活道路・通学路の道路行政 ②残土埋め立て ③館山市の津波・液状化対策 ④「館山夕日栈橋」付近のウミホタル生育状況 ⑤里見氏城跡の国史跡指定後の取組について</p>
	<p>石井 信 重</p> <p>①成年後見制度（制度利用、館山市の取り組み） ②交通安全対策（安全主任会議、小中学校の危険箇所取りまとめ、児童生徒の交通安全指導） ③館山市の情報発信（暮らしの便利帳、ホームページ）</p>
	<p>太田 浩</p> <p>①県道南安房公園線の安全性（4月27日に発生した交通事故について、事故教訓の活用、安全性確保） ②観光促進（観光事業の計画、観光客拡大のための事業の増加）</p>
	<p>望月 昇</p> <p>①通学に路線バスを利用している地区の児童・生徒の通学方法のスクールバス化 ②公民館の使用料改正後の利用者の増減、要望その他</p>
	<p>龍崎 滋</p> <p>①通学路の安全対策（今後の取り組み、安全対策予算の確保） ②防災対策（防災基本条例、自主防災組織の充実） ③館山市の水産業と海の活用（下原漁港荷さばき施設、海を活用した振興策）</p>
	<p>秋山 貴</p> <p>①緊急雇用創出事業（事業成果、経済効果） ②生活保護受給者（就労支援、就学援助） ③都市計画道路（廃止路線の申請、船形バイパス） ④安全、安心な海浜空間の実現（海・浜ルールブック、館山夕日栈橋の使用マナー、液状化対策） ⑤人口減少対策（企業誘致、後継者対策）</p>
	<p>鈴木 順 子</p> <p>①防災体制（地域対策の進め方） ②児童通学路の危険箇所の点検 ③大手企業館山工場からの撤退 ④渚の駅たてやま、館山夕日栈橋の利用状況 ⑤国民健康保険税本算定による保険税値上げの想定</p>
	<p>榎本 祐 三</p> <p>①館山市のごみ行政について（館山商事株への県の処分、新聞報道、当該事業の落札率、新規参入業者） ②子育て支援（延長保育・早朝保育、早朝保育開始時刻の繰り上げ）</p>
	<p>石井 敬 之</p> <p>①館山市の観光について（文化財を活用した観光振興、スポーツ観光による集客、南房パラダイス） ②市内コミュニティバス（高齢者の利便性のための早期の実現） ③防災について</p>
	<p>瀬能 孝 夫</p> <p>①防犯カメラ設置 ②防災の取り組み（小中学校の防災教育、非構造物における耐震化、防災を目的とする公共事業、普通救命講習、防災土育成に係る費用補助） ③どんどん川の河川浄化</p>
	<p>森 正 一</p> <p>①スポーツ振興、スポーツ観光（市民のスポーツ振興、スポーツアカデミー、東京オリンピック誘致時の取り組み） ②農業振興（農業従事者数、就農促進事業、農業従事者数増加の施策） ③学童保育・放課後子供教室（放課後事業、北条学童クラブ） ④環境、エネルギー問題（電力の原発依存、再生可能エネルギー導入）</p>

※紙面の都合上、通告質問の要旨を掲載しています。詳細については、8月中旬ごろ図書館に配置予定の会議録、または館山市ホームページの会議録検索システムでご覧ください。

主な質問と答弁

防災対策

- 津波・液状化対策は？
- 自主防災組織の充実は？
- 普通救命講習会は？

立について伺います。(龍崎滋議員)

問 県の発表を受け、館山市の津波・液状化対策はどのようなになっているのか伺います。

答 県の発表は、東日本大震災を受け、従来の津波被害想定を大幅に見直した津波浸水予想図と、震度5弱から震度6強までの震災ごとの液状化の被害予想を示した「液状化しやすさマップ」を公表したものです。今後、さらにこれらの地域別の詳細データが提供されると伺っており、これを受け取り次第、防災マップの修正を行い、今年度の秋ごろを目途に市民に配布する予定です。

問 自主防災組織の充実と設

答 共助の核となる自主防災組織の強化について昨年度から重点施策として取り組んできました。具体的には、昨年の7月に自主防災組織活動マニュアルを作成し、全町内会、自主防災会に配布し、市の職員が各地区に出向いて説明会を実施しました。これにより、新たに3つの自主防災組織が設立されました。また、昨年度、自主防災組織を中心とした実践訓練を17回実施し、延べ約4900人が参加したところです。今後も引き続き出前講座や防災訓練を通じて、自主防災組織の強化を図っていきます。

問 学校や市役所の教職員等を対象に、今後も定期的に普通救命講習を受ける取り組みができませんか伺います。(瀬能孝夫議員)

答 各小中学校にAEDを設置した平成19年度から20年度にかけて、学校教職員を対象としたAEDの使用講習会を実施しました。また、毎年、千葉県

催の講習会が実施され、館山市の学校教職員も受講しています。館山市職員については、平成18年度から20年度にかけてAED講習会を実施し、全職員が受講しています。学校教職員や市職員が救命に関する正しい知識と技術を身につければ通勤途中や災害発生時に、救命活動に従事できるようになり、一人でも多くの生命を守ることができ、可能性が高くなります。そのため今後も定期的に、普通救命講習会を実施するよう努めていきます。



7月17日に市議会議員を対象に行われた普通救命講習会のようす

交通安全対策

- 危険箇所の改修は？
- 事故後の対策と安全性の確保は？
- 通学方法のスクールバス化は？

問 道路の危険箇所の改修をもっと進めるべきだと思いがどうか。例えば市道369号線の改修について伺います。(石井敏宏議員)

答 通常より実施している道路パトロールや、町内会や周辺住民の方からの連絡により、現地を確認して対応しています。また、市道369号線の路肩における段差解消については、既に着手している舗装工事により実施します。

問 4月27日に発生した交通事故について、今後の対策と安全性の確保について伺います。(太田浩議員)

答 危険箇所については引き続き館山市の道路パトロールによる定期的な点検や、教育委員会が各小中学校に依頼した通学路等の危険箇所の再点検により、その把握に努めていきます。また、これに対する安全対

策については、危険箇所を把握する中で出された要望に対し、市道に設置するガードレールやカーブミラー等の交通安全施設については、早急に対応していきます。さらに、国道と県道の安全対策については、道路管理者に対し、継続して強く要望してまいります。

問 通学に路線バスを利用している地区の児童・生徒の通学方法のスクールバス化について伺います。(望月昇議員)

答 厳しい財政状況の中、スクールバスの運行には多額の経費がかかることや、スクールバスが路線バスに比べて安全性に優れているという確証が得られないことから、現在のところ路線バス利用者のスクールバスへの移行は考えていません。

観光・渚の駅・経済対策

- 里見氏城跡の取り組みは？
- 海・浜ルールブックは？
- 観光客拡大の計画は？
- 南房パラダイスは？
- 市民のスポーツ振興は？

問 里見氏城跡の国史跡指定を受けて、今後どのような取り組みを考えているか伺います。(内藤欽次議員)

答 国史跡「里見氏城跡稲村城跡」を次世代に確実に継承し、歴史遺産を活かしたまちづくりの実現に資するため、稲村城跡保存管理計画策定委員会を組織し、文化庁及び千葉県教育委員会の指導と助言を受けながら、今年度と来年度の2カ年事業により、史跡の保存管理、整備活用の基本方針と構想を策定していきます。

問 海・浜ルールブック記載のルール遵守について伺います。(秋山貴議員)

答 「海・浜ルール」は、海浜を訪れる人々がレクリエーションを楽しむための方法をまとめたものです。そのため、これまで「海・浜ルール」の周知を図り、理解をお願いするための啓発活動として「海・浜パトロール」を実施していますが、これからも海でのレクリエーションを楽しんでいただけるよう、館山市の広報紙やホームページで周知し、ご理解いただけるようお願いしていきます。



館山夕日棧橋付近のようす

問 更なる観光客拡大のための観光事業をふやす計画はないのかお伺いします。(太田浩議員)

答 これからの観光振興には、行政と民間がそれぞれの役割を認識しながら、相互に協力する態勢強化が必要だと考えています。具体的には、今後、市内NPOが開催するサーフィン大会やJR東日本の販売強化月間に伴う各種イベント、館山市観光協会が計画している「館山ファンクラブ」をはじめとした各種事業、東京湾フェリーが実施する婚活やサイクリングを取り入れたツアーなど様々な計画がありますが、これらの民間団体が行うイベントに対して協働・参画を積極的に行います。

問 南房パラダイスの今後の運営について伺います。(石井敬之議員)

答 南房パラダイスのその後の状況については、千葉県の委託事業として、4月から10月まで、一般財団法人公園財団が管理運営を行っています。南房パラダイスは、館山市をはじめ、南房総地域を代表する重要な観光資源であり、今後も、千葉県による安定的な管理運営が必要であることから、11月以降も千葉県による委託事業を継続するよう、館山市、館山商工会議所、館山市観光協会及び館山市商店会連合会の連名による要望書と南房総地域3市1町の首長の連名による要望書を千葉県知事宛に提出しました。

問 市民のスポーツ振興について伺います。(森正一議員)

答 「館山ファミリースポーツクラブわかしお」や「館山市体育協会」等のスポーツ団体の活動を支援し、各種スポーツ大会やイベントを開催することで、市民のスポーツへの関心が高まり、スポーツ人口の増加と競技力のレベルアップが図られると考えます。さらに、民間企業等と連携したスポーツイベント

トを開催することで、交流人口の拡大による地域経済の活性化や、生涯スポーツの推進が図られると考えます。現在、新たな取り組みとして、トライアスロンワールドカップの開催誘致に向け、日本トライアスロン連合等と準備を進めているところで



館山トライアスロン大会

員)

答 平成23年度は、事業主体の西岬漁業協同組合において基本設計及び実施設計を行うとともに、西岬漁業協同組合、館山商工会議所、館山市旅館組合、館山市観光協会、館山市体験観光協議会、千葉県、館山市で構成される「たてやま浜廻道(はまかいどう)産地協議会」において、荷さばき施設整備に伴うソフト事業の検討及び実施を行いました。今年度の取組としては、今年度内の完成予定で荷さばき施設の建設を行うとともに、昨年度に引き続き、同協議会において荷さばき施設整備に伴うソフト事業の検討及び実施を行うこととなっています。

問 これまでの就農促進事業の経過と成果について伺います。(森正一議員)

答 就農促進事業としては、千葉県と連携した認定就農者制度の推進を中心に、空き農地の情報提供などの相談業務や民間団体が実施する就農促進事業に対する支援を実施しています。また、昨年度から実施している地域おこし協力隊事業では、都市部からの若者を募り、新たな農業の担い手として活躍しても

産業振興・雇用対策

- 下原漁港の荷さばき施設は？
- 就農促進事業の成果は？
- 緊急雇用創出事業は？
- 大手企業撤退については？

問 下原漁港の荷さばき施設について伺います。(龍崎滋議員)

らうことを目的として、現在、4名の若者が、地域おこし協力隊員として、農業振興の活動を展開しています。

問 緊急雇用創出事業の地域への経済効果について伺います。(秋山貴議員)

答 これまでに実施した事業のうち、市内事業者に委託された事業は、全体で15件、事業費は、2億6480万円でした。このうち、ふるさと雇用再生特別基金事業が5件で、事業費は、1億6872万円、緊急雇用創出事業が10件で、事業費は、9608万円でした。厳しい雇用情勢にある中、本事業の活用により、地域の実情にあった雇用機会の創出や、地域経済の活性化が図られたと考えます。

問 大手企業館山工場からの撤退について、市としての態度はどうか伺います。(鈴木順子議員)

答 市長が直接、旭化成エレクトロニクス株式会社本社を訪れ、「雇用の場及び安定した市民生活の確保といった観点から、事業継続についての再検討」、「グループ内企業あるいは

同業他社による統合後における館山工場の活用」、「館山工場従業員のグループ内における雇用の確保並びに退職者に対する再就職先の斡旋」の3点について、書面に記し、要望書として同社代表取締役社長宛てに提出しました。その結果、同社から、「従業員の今後の雇用には誠心誠意対応させていただきます。」また、「生産拠点統合後の館山事業所の活用については、旭化成グループ、取引先などを含め検討をしていきます。」といった回答を、文書によりいただいています。

環境対策・残土問題

- 土砂埋め立て問題は？
- 館山市のごみ行政は？
- 河川浄化の取り組みは？

問 4月下旬から5月上旬にかけて、雨のたびに坂田川から大量の土砂が流出し、河口付近の海が茶色くなったが、その原因について伺います。(石井敏宏議員)

答 坂田川河口付近の海が茶

色くなった原因については、上流部で行われている「農園用地造成事業」の中で、防災対策として実施される、調節池造成工事の施工箇所、雨水が流れたことが原因として考えられますが、現在は、その上流部で水をせき止め、排水管により、下流に放流するようになっています。

問 市内業者が処分を受けたことに対し、館山市の処分と県の処分は、何が違うのか伺います。(榎本祐三議員)

答 館山市は、一般廃棄物収集運搬業及び処分業について、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」第7条の3の規定に基づき、90日間の業務停止命令処分を行ったものであり、一方、千葉県は、産業廃棄物収集運搬業及び特別管理産業廃棄物収集運搬業について、同法第14条の3の規定に基づき、90日間の業務停止命令処分を行ったものです。これは、一般廃棄物処理業については、館山市が許可権者であり、産業廃棄物処理業については、千葉県が許可権者であるためです。また、業務停止期間中の収集処理体制については、同

法により許可を受けなければ実施できない事業に対しての処分であり、館山市が委託しているごみ収集については、同法による許可を受けて行う事業ではないため、影響はありません。

問 新聞報道にある、県に対する「意見書」は事実か伺います。(榎本祐三議員)

答 千葉県に対して、意見書を提出したことは事実です。その理由は、処分原因の一部について千葉県と館山市で解釈の違いがあると考えられたためです。意見書の内容としては、館山市の考え方を述べ、これまでの経緯を説明するとともに、産業廃棄物と一般廃棄物の区分を明確にして、廃棄物の適正な処理に向けて、千葉県と館山市が連携して、必要な措置を講じることができるよう求めたものです。

問 船形漁港脇に河口を持つどんだん川の、河川浄化の取り組みについて伺います。(瀬能孝夫議員)

答 まず、市内全域での取り組みとしては、公共下水道の整備、浄化槽の普及、家庭でできる浄化対策の啓発などに努める

とともに、平久里川・汐入川・巴川の3河川について、水質を把握する目的で、毎年、水質検査を実施しています。また、この地域では、河川や海の浄化活動に取り組み、NPO法人の「安房の海を守り育む会」が積極的な活動を行っています。館山市としても、市民の間に河川や海をきれいにしようという意識が広がることを期待して、この会の活動に対して、平成14年度から補助金を交付し、支援しています。



どんだん川河口のようす

市内コミュニティバスは？

問 市内コミュニティバスについて早期の実現を目指せないか伺います。(石井敬之議員)

問 館山市が介入し、コミュニティバスを運行することについては、過去の検討経緯からも、既存の路線バス事業者やタクシー事業者の経営を圧迫してしまうおそれや、館山市の新たな財政負担が生じることなどから、導入については、慎重にならざるを得ないと考えています。

成年後見制度は？

問 成年後見制度の館山市における取り組みについて伺います。(石井信重議員)

答 広報やパンフレットなどで、制度の周知や利用促進に努めてきました。引き続き、館山市地域包括支援センター、安房地域生活支援センター、千葉県中核地域生活支援センターや、関連団体等との連携により、制度普及のための広報を行うとともに、講習会を開催してまいります。

館山市の情報発信は？

問 館山市暮らしの便利帳の発刊・配布について伺います。(石井信重議員)

答 発刊・配布については、民間事業者の編集ノウハウによ

り、これまで掲載してきた行政情報に加え、身近な生活情報、観光や歴史・文化、食のブランド、直売所など地域情報も掲載し、「楽しむ」「知る」「調べる」など、市民の皆様にとって、様々な場面での活用が可能となっています。また、広告の掲載により、編集から発行・配布まで、館山市が財政負担をすることなく、市内の全世帯に配布することができました。

国民健康保険税値上げは？

問 国民健康保険税本算定により保険税値上げが想定されるか伺います。(鈴木順子議員)

答 市町村の国民健康保険は、必要とされる医療費などを国県支出金や国民健康保険税などで賄うこととされています。近年は、高齢化などに伴い、年々増加する医療費に対し、経済状況の低迷などから、所得の伸びに伴う税収の増大が期待できないなど、市町村の国民健康保険の運営は、依然厳しい状況が続いています。こうした中、平成23年度においては、納税課職員をはじめとする、職員の一層の努力による税収の確保

などにより、平成23年度の税率に据え置くこととしました。

料金改正後の公民館の利用者の増減は？

問 公民館使用料その他の改正が平成23年10月に行われたが、その後の状況について伺います。(望月昇議員)

答 公民館使用料等の改正後における利用者の増減については、地区公民館、菜の花ホール等の学習等供用施設を含む平成23年10月から平成24年3月までの6か月間の利用者は、13万2734人で、前年度、同時期の利用者数、13万2760人に対し、26人の減となりました。次に、使用料収入の増減についてですが、これらの施設に係る平成23年10月から平成24年3月までの使用料収入額は、222万1150円で、前年度、同時期の使用料収入額21万4450円に対し、200万6700円の増となりました。

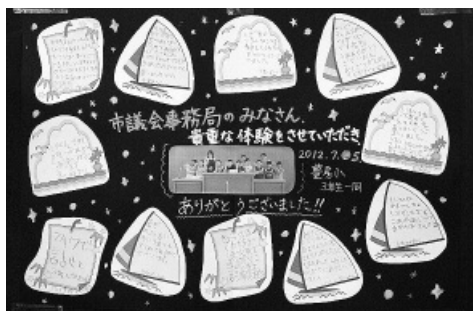
本市への視察

7月11日 群馬県みどり市議会 議会広報特別委員会(議会広

報編集に係る全般的な事項について)

児童の見学

7月5日に館山市立豊房小学校3年生児童の校外学習として館山市議場を見学に来ました。当日は市議会の役割についての説明を議員から受けた後、議会の内部を興味深く見て回り、お礼として議会事務局と説明した議員あてに色紙をいただきました。



事務局あてにいただいた色紙

会議の実施

千葉県南12市議会議長会総会が6月2日に休暇村館山で開催され、平成23年度歳入歳出決算が認定され、平成24年度事業計

画及び歳入歳出予算が可決されました。

会議録の検索・閲覧

また、平成24年度は館山市が会長市、副会長市が木更津市となることに決定しました。

6月定例会及び委員会の会議録は、8月中旬にホームページから検索・閲覧ができます。また、従来どおりの会議録も、図書館で閲覧ができます。また、「たてやま議会だより」は、平成20年5月号以降の分については、ホームページで閲覧ができます。

市議会を傍聴しませんか！

傍聴の手続きは、希望する当日に議会事務局(市役所2階)前で用紙に住所、氏名等を記載するだけです。

また、本会議を開いている時は、インターネットで、本会議の生中継を配信していますので、ご利用ください。(館山市のホームページでご覧になれます)

平成24年6月定例会提出議案等議決結果

議案番号	件名	議決結果
議案第34号	館山市市税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について	承認 全会一致
議案第35号	館山市市税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第36号	館山市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第37号	館山市印鑑条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第38号	平成24年度館山市一般会計補正予算(第1号)	原案可決 全会一致
議案第39号	平成24年度館山市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決 全会一致
議案第40号	平成24年度館山市一般会計補正予算(第2号)	原案可決 全会一致
議案第41号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案可決 全会一致
発議案第2号	基地対策予算の増額等を求める意見書について	原案可決 全会一致
発議案第3号	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書について	原案可決 賛成多数
発議案第4号	国における平成25年度教育予算拡充に関する意見書について	原案可決 全会一致
請願第5号	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願書	採択 賛成多数
請願第6号	「国における平成25(2013)年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書	採択 全会一致

平成24年第2回臨時会提出議案議決結果

議案番号	件名	議決結果
議案第42号	工事請負契約の締結について	原案可決 全会一致

2012年版市政概要の販売

市の各種事業や統計資料を盛り込んだ「2012年版市政概要」が完成しました。

市政概要には、市のあゆみ、予算、決算、各種事業内容などが掲載されており、一部500円で販売しています。ご希望の方は、議会事務局でお求めください。

編集後記

7月17日に議員を対象とした普通救命講習会が開催されました。

これは、消防署職員の指導のもと、心肺蘇生法及びAED(自動体外式除細動器)使用法を学ぶもので、事故や災害発生の際の救命措置を可能とするものです。

実は、その数日前に、議会報の広報編集の研修へ行く途中、道路上で転倒した女性を見かけ、車を降り、救急車が到着するまで介抱したり、親族に連絡を取るようなことがありました。

救命措置などを覚えても、実際に使う機会があるかと思っておりますが、場合によって

は、私たちが行わなければならない立場になるのだということが良く分かりました。

おかげで、当日は心配蘇生法などの講習にも熱が入り、万一の際に、救命措置ができることを認定する、普通救命講習終了証を無事にいただくことができました。(秋山 貴)

議会報編集委員会

(◎委員長 ○副委員長)

◎秋山 貴 ○三澤 智
石井 信重 本多 成年

議会や議会だよりに関することのご意見、ご質問等は議会事務局まで電話又はメール(番号及びアドレスは表紙参照)でご連絡ください。

次の定例会の予定

開会日：8月31日(金) 午前10時から
 一般質問：9月5日(水)、6日(木)
 予備日：7日(金)
 各日 午前10時から
 請願・陳情提出締切：
 8月24日(金) 正午まで